

平成28年度第1回流山市入札監視委員会 会議録

1 日 時

平成28年10月6日（木）午後2時

2 場 所

流山市役所第2庁舎3階 304会議室

3 出席委員

倉橋 透 委員長 村岡 豪 委員

※中神 啓四郎委員が辞任したため、2名で開催

4 出席事務局

総務部 水代部長、早川次長

財産活用課 斉藤課長補佐、染谷契約係長

高野主査、友松主事

上下水道局 兼子次長

経營業務課 秋谷課長補佐、坂本主任主事、島村主事

5 工事担当課

教育総務課 長橋課長、中橋課長補佐、横山主任技師

水道工務課 石井課長、斉藤主査

西平井・鱈ヶ崎地区区画整理事務所

上野所長、山口係長、江口技術員

下水道建設課 遠藤係長、野上主査

6 審議事項

(1) 抽出事案の審議について

(2) 入札及び契約手続の運用状況等の報告

(3) 次回審議事案の抽出について

(4) その他

7 協議状況

開 会 午後 2 時

閉 会 午後 4 時 1 0 分

総務部長の挨拶及び財産活用課長補佐から入札監視委員会の審議対象の説明後、委員会の次第に沿って会議が開催された。

協議事項

(1) 抽出議案の審議について

① 流山市立小山小学校校舎増築工事（杭工事）

【一般競争入札・市長部局】

[事務局入札概要説明]

[担当課工事概要説明]

倉橋委員長

工事の予定価格 8,272 万円の内訳を知りたい。

横山主任技師

杭工事が約 5,000 万円である。その他工事が約 3,000 万円であり、設計金額の 6 割以上が杭工事である。

倉橋委員長

業者からの入札価格は、積算根拠が示されているのか。

高野主査

入札時に該当工事の内訳書の添付を義務付けているため、積算の根拠は示されている。内訳書の金額と入札金額に相違がないことを確認し、落札決定を行っている。

倉橋委員長

落札決定業者と市の積算根拠の金額の差はどのように確認しているのか。

高野主査

入札金額には、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費の金額を出して応札をしてもらう。落札決定後に業者から提出してもらう詳細な見積もりの内訳書から、業者と市の積算金額が比較できる。

倉橋委員長

打ち込む杭の本数に誤りがないのかや、コンクリートが流し込まれているかを確認する体制はどのようになっているのか。

横山主任技師

工事監理者や現場代理人、主任技術者、監督員立会いのもとに現場確認を行っている。その後、提出された書類により、数量の誤りがないか確認している。

倉橋委員長

工事監理は落札決定業者とは別にいるのか。

横山主任技師

落札業者とは別におり、建物の設計をした業者が工事監理を行っている。

村岡委員

現在、小山小学校は増築を行っているのか。

横山主任技師

行っている。

② 北部地域主要配水管改良工事（H27-1工区）

【一般競争入札・上下水道局】

[事務局入札概要説明]

[担当課工事概要説明]

倉橋委員長

この工事は、「改良工事」とあるため、現在は水道管があるとの認識でよいか。

石井課長

工事名は改良となっているが、水道管を新設する工事となっている。本工事は災害時に「重要給水施設」へ向けて、新規に配水管を新設することを意味している。主に配水管の耐震性向上を目的としている。

倉橋委員長

一部の箇所配水管が使用不可となった場合、別の配水管で配水を補う機能はあるのか。

石井課長

市内全ての配水管には耐震性を持たせる他、1か所が使用できなくなったときに別の配水管の機能を使う計画がある。現在は、耐震性を持たせている配水管は全体の約55%改良が進んでいる。主要管については、平成27年度から概ね10年間を目安に市内の配水管整備を進めていく予定である。

倉橋委員長

一度に全ての箇所で工事が行えないため、工事の優先順位をつけなければいけないと思うが、配水管改良の優先順位に基準はあるのか。

石井課長

主要配水管については、重要給水拠点に基づき、市内にある病院や公共施設を優先的に施工していくこととなる。埋設した管の設置年数や材料等から耐用年数を考慮し、工事を進めていく。

倉橋委員長

配水管の耐用年数は何年か。

石井課長

一般的には40年といわれている。流山市の実績等を見ると、耐用年数は60年を目安としている。

倉橋委員長

今後改修する配水管は、全て耐震性を持たせたものと認識してよいか。

石井課長

そのとおりである。

村岡委員

総合評価の評点内に1級技術者を配置することで加点があるが、Aランクで1級技術者を配置できる業者は何者あるか。

石井課長

1級技術者を配置できる業者は6者ある。

倉橋委員長

工事成績では、江戸川設備工業(有)は工事成績が一番高いが、工事請負回数が一番少ない。そして、女性雇用や建設業労働災害防止協会での加点が0点となっている。何か理由があるのか。

石井課長

会社の組織としての規模が小さいことが一番の要因だと思う。従業員が少なければ請け負える工事が少なくなるので、工事請負回数の少なさがあらわれているのではないか

倉橋委員長

総合評価の点数表は工事案件ごとに配点を変えているのか。もしくは全ての工事で統一しているのか。

齊藤課長補佐

全ての総合評価案件対象工事で同一の配点としている。

倉橋委員長

将来的には、工事案件ごとに重要視している部分の配点や評価方法を変えてみてはどうか。

齊藤課長補佐

今後の検討項目と考えている。業務委託や設計・測量業務についてはプロポーザル方式があり、配点や評価方法を自由に設定できるが、工事については、現在単一の評価を行っている。

倉橋委員長

総合評価の効果として、実感できることはあるのか。

高野主査

総合評価落札者決定基準内に、女性従業員の雇用について加点しており、数年前から導入している。建設業界は男性従業員が多い業界のため、導入当時は加点される業者は少なかった。現在は少しずつではあるが、女性従業員の雇用が増えてきている。審査項目についても、女性技術者や35歳未満の若年者層の雇用での加点を考えているが、事業所ごとの雇用問題があるため、評価項目への反映はまだ難しく感じる。今後の国、県、近隣市の状況を踏まえ考えていきたい。

③ 盛土造成工事（H25-3）に伴う附帯工事

【随意契約・市長部局】

[事務局随意契約概要説明]

[担当課工事概要説明]

村岡委員

設計変更では、盛土部分が大幅に増えている理由はなにか。

上野所長

工事当初に想定外の盛土が発生してしまった。別箇所が発生した工事の土を使用し、対応している。

倉橋委員長

別箇所の建設残土を買い取ったということか。

上野所長

別箇所の工事施工者から造成した土が不要になったとの申し出があり、今回の工事の造成に使用した。

村岡委員

設計変更にて、数量が増えたにもかかわらず、工期延長がなかったのは理由があるのか。

上野所長

附帯工事のため、当初工事の現場が近くにあることから、一体となって施工ができたため工期の延長がなかった。

倉橋委員長

土質改良が必要な土かどうかは、どのように判断するのか。

上野所長

土質試験を行い、土を固めた時の強度の有無を確認する。必要であれば土の強度強化の措置を行う。

倉橋委員長

土の環境上の調査は行っているのか。

上野所長

5,000 m³以上の土については、千葉県庁で調査を行っている。

倉橋委員長

随意契約理由に仮置土を土質改良することにより、盛土材の安定供給につながる
とあるが、V=4,300 m³が仮置土ということか。

上野所長

工事エリア内にある余分な発生土を仮置土にしており、この土を一部改良したも
のであるため、V=4,300 m³が仮置土ということである。

倉橋委員長

工事地区外から持ってきた土はあるのか。

上野所長

工事地区外の土はなかった。

村岡委員

設計変更について、廃材処分と仮設工はどの程度まで見込んでいたのか。

上野所長

廃材処分は当初から見込んでいなかった。仮設工は敷き鉄板を追加したものであ
る。

倉橋委員長

契約金額は、当初工事の施工者とやり取りをして金額を決定するのか。

染谷係長

一者の特定随意契約であるため、当初工事の元設計から工事の落札金額の割合を

本工事の設計金額に掛け、その金額以下で発注を行うこととなっている。

上野所長

工事の概要は事前に業者とやり取りをするが、金額については設計に基づいて見積書を上げてもらう。

④ 第2-1 汚水枝線工事（E7-213）に伴う附帯工事

【随意契約・上下水道局】

[事務局随意契約概要説明]

[担当課工事概要説明]

倉橋委員長

工事概要の中に水道管切回しと、水中汚水ポンプ設置とあるが、金額を分けて設計しているのか。

遠藤係長

分けて設計をしている。金額の内訳としては、水道管の切回しに3,000万円程、水中汚水ポンプ設置は1,100万円程である。

村岡委員

工期を2か月以上延長しているが、何か理由はあるのか。

遠藤係長

発注前の段階で埋設管の資料を収集してから発注をするが、工事に入った時に改良をする埋設管が予定していた場所と違う場所にあったため、方針の変更として工期の延長と設計の変更を行った。

倉橋委員長

当初の汚水枝線工事の設計段階で昔の配水管の敷設位置と違ったため、急遽変更を行ったということか。

遠藤係長

そのとおりである。

倉橋委員長

汚水の最終的な処分場はどこにあるのか。

遠藤係長

市川市の行徳にある処分場で処理をしている。

(2) 入札及び契約手続の運用状況等の報告

① 市長部局発注（財産活用課から報告）

[事務局説明（市長部局）]

村岡委員

総合評価一般競争入札で、評価点が同点となった場合はどうするのか。逆転入札の話になるが同点に並んだ場合はどうなるのか。

染谷係長

流山市建設工事総合評価一般競争入札（特別簡易型）要領内で、同点の場合は、価格点以外の加算点が高い方を落札者としている。

倉橋委員長

随意契約発注工事一覧の5番の下花輪福祉会館浴室改修工事の工期が6月30日までなのはなぜか。

染谷係長

施設の都合もあるが、多くの利用者が見込まれる施設であるため、早期に工事を終える必要があったため、6月までの工期としている。

倉橋委員長

前年度に入札を行わなかった理由は何か。

染谷係長

担当課の予算の関係から、前年度に前もって入札・契約を行うには前年度に予算を確保する必要がある。今回の改修工事は急な故障が理由となるため、今年度の発注となった。

村岡委員

見積もり合わせに参加できる業者数に決まりはあるのか。

染谷係長

流山市指名業者及び見積業者選定基準から、業種・金額で業者数を決定する。

倉橋委員長

今回は指名競争入札の案件がないが、工事発注はなるべく一般競争入札で行うということか。

染谷係長

工事案件は基本的に一般競争入札を行うことを前提にしている。一般競争入札を行い、不調となった場合は工期に影響を及ぼすため、開札までの時間が短い指名競争入札へ切り替えることもある。

② 上下水道局発注（経營業務課から報告）

[事務局説明（上下水道局）]

倉橋委員長

入札結果閲覧簿に「未入札」や「辞退」とあるがどのような違いがあるのか。

秋谷課長補佐

金額を記載した入札書を提出しなかった場合、未入札となる。また、辞退については、開札前に業者都合等により辞退の申し出があった場合に辞退となる。

倉橋委員長

総合評価落札者決定基準内にある工事請負回数は、流山市以外の工事回数も含まれるのか。

秋谷課長補佐

官公庁や他の自治体の工事施工回数も含まれている。

倉橋委員長

市長部局と上下水道局の入札結果閲覧簿を見ると、市長部局の入札金額は税抜と記載がされているが、上下水道局の入札結果には記載がない。税抜、税込のどちらになるのか。

秋谷課長補佐

全て税抜価格となる。

倉橋委員長

上下水道局の閲覧簿は応札率の項目がない。市長部局と統一したほうがよろしいのでは。

兼子次長

検討いたします。

(3) 次回審議事案の抽出について

倉橋委員長

次回の委員会の審議案件として、市長部局発注工事は、一般競争入札については、市長部局は「盛土造成工事（H27-1）」、随意契約については「下花輪福祉会館浴室改修工事」

上下水道局発注工事は、一般競争入札については、「北部地域主要配水管改良工事（H28-1工区）」、随意契約については「向小金雨水幹線工事に伴う配水管復元工事」とすることよろしいか。

[全員了承]

倉橋委員長

次回の入札監視委員会は2月8日（水）の午後2時から、予備日を2月6日（月）の午後2時からとしたいがよろしいか。

[全員了承]

特に質問がなければ、以上で委員会を終了する。